

第3節 防衛力のあり方に関する検討

本節では、政府および防衛省が行っている防衛力のあり方に関する検討の進捗状況などについて説明する。

1 防衛大綱の見直しの背景

わが国の安全保障環境は、引き続き、大量破壊兵器などの拡散や国際テロなどの新たな脅威や多様な事態が課題であることに加え、国際平和協力活動への積極的な取組への期待がさらに高まっており、今後、このような安全保障環境により適切に対応していくことが必要である。防衛大綱においては、策定の5年後、すなわち本年末までに検討の上必要な修正を行うとされていることを踏ま

え、政府は、わが国の安全保障と防衛力のあり方について幅広い視点から総合的な検討を行うため、本年1月7日、安全保障と防衛力のあり方に関係する分野などの有識者を委員とし、さらにこの分野に関する行政実務上の知識や経験を持つ者を専門委員とする「安全保障と防衛力に関する懇談会」¹⁾の開催を決定した。

2 安全保障と防衛力に関する懇談会

本年1月9日、第1回懇談会が開催され、麻生内閣総理大臣は、

- ① 国際平和活動が自衛隊の本来任務となり、イラクやインド洋での実績を積んできたこと
- ② 日本周辺の状況については、様々な問題がある一方で、中国など各国との協力関係が強化されていること
- ③ 防衛省改革について、防衛政策および統合運用の機能強化、防衛力整備の一元化や、調達の見直しが必要となっていること

などを踏まえ、今後の国際情勢を見通し、安全保障戦略と防衛力の役割について、活発な議論を行い、今後の防衛構想と防衛力のあり方に関する指針を提示して頂きたいと述べた。

本懇談会は、本年5月末の時点で、10回にわたり開催されているところである。

(図表Ⅱ-23-1 参照)

図表Ⅱ-2-3-1
「安全保障と防衛力に関する懇談会」の
開催状況

(21. 5. 31現在)

回数	開催日	主な検討内容
第1回	平成21年1月9日	これまでの防衛計画の大綱の考え方
第2回	平成21年1月26日	国際安全保障環境
第3回	平成21年2月12日	国際社会の課題と対応
第4回	平成21年2月24日	情報と意思決定
第5回	平成21年3月3日	日米同盟に関する諸問題 国際平和協力法（PKO法）に基づく活動
第6回	平成21年3月26日	防衛力を支える基盤（防衛生産・技術基盤）
第7回	平成21年4月9日	防衛力を支える基盤（自衛隊の基地等と地方自治体）
第8回	平成21年4月24日	自衛隊の将来体制（1） 日本の財政と防衛力の整備
第9回	平成21年5月15日	自衛隊の将来体制（2）
第10回	平成21年5月29日	真に必要な防衛生産・技術基盤の明確化 主要な論点に関する議論

1) <<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/ampobouei2/index.html>> 参照

3 防衛力の在り方検討のための防衛会議

防衛省においては、政府としての検討に資するため、今後の防衛力のあり方などについて多様な観点から幅広く議論する事を目的として、昨年9月17日、防衛大臣を長とする「防衛力の在り方検討のための防衛会議」¹⁾を設置した。

第1回会議において、林防衛大臣（当時）は、今後審議を進めて行く上での留意点として、次の3点を述べた。

- ① わが国の防衛力の本質を把握した上で、必要な検討を行うこと
- ② 国内外の最新の動きや流れを踏まえた検討とすること
- ③ 省内の英知を集約し、21年の夏までを目途に一定の成果を得るため、スピード感をもって作業をしていくこと

現在、防衛省としては、04（平成16）年以降の日米関係や周辺国における新しい事象、国際平和協力活動の本来任務化などを踏まえつつ、防衛大綱の評価、国際情勢、防衛力の役割、今後の課題を踏まえたわが国のあるべき防衛体制などについて、防衛省改革を含む省内の他の検討と有機的に関係づけながら、内閣官房と連携しつつ、検討を進めている。

（図表Ⅱ-2-3-2 参照）

図表Ⅱ-2-3-2
「防衛力の在り方検討のための防衛会議」の
開催状況

（21.5.31現在）

回数	開催日	主な検討内容
第1回	平成20年9月17日	今後の進め方など
第2回	平成21年1月9日	16大綱※の評価について
第3回	平成21年2月24日	わが国の安全保障環境
第4回	平成21年4月27日	日米同盟のあり方

※ 平成16年12月に策定された「平成17年度以降に係る防衛計画の大綱について」

1) <<http://www.mod.go.jp/j/info/arikata/index.html>>参照